

CM

月刊 **コマーシャルモーター**
特装車・商業車総合誌

ハノーファーIAA現地取材第1弾

●ミラージャパン社長インタビュー ●JHR全国大会
IAA特集① **ダイムラー・BPW・最新トレーラと車体**

Commercial Motor

2016 11

The BPW Group:

we think transport

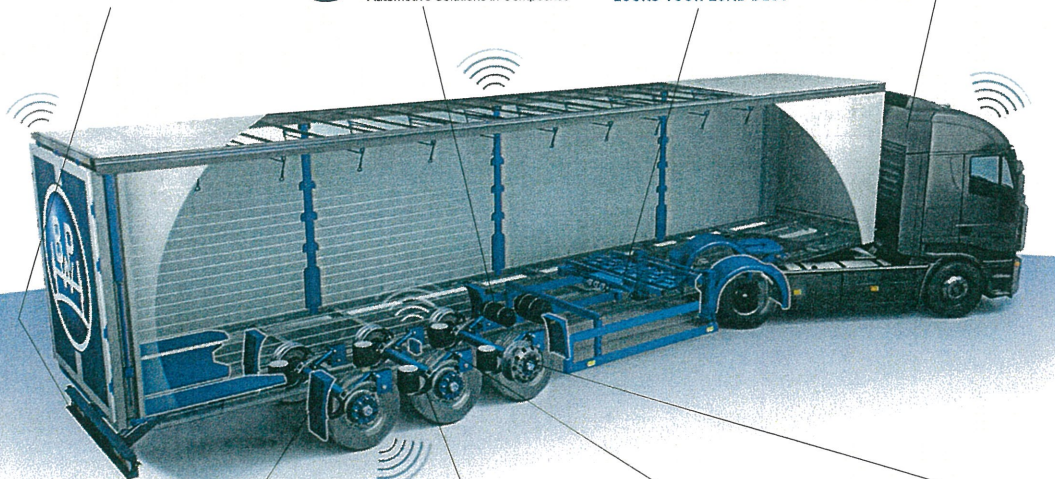


ERMAX®

HBN-Teknik A/S
Automotive Solutions in Composites

HESTAL®
LOCKS YOUR LOAD BEST

idem telematics



Axle systems



Brake technology



Suspension systems



Bearings



Van Eck

Eckstreme Double Deck

Air cargo Trailer

Van Eck (ファン・エック) は、1912年にオランダ西部・コルテンフーフンで創業した歴史ある車体メーカーで、GSE (空港車両) や花卉運搬車、ダブルデッキ車など一品ものトレーラ製作を得意としている。その同社が出品したのが、ダブルデッキセミトレーラ "Eckstreme" の日本向け車だ。日本航空の "鶴丸" を掲げた出品車は、平野ロジスティクス (本社・神戸) が、日本航空が取り扱う航空貨物の空港間保税輸送 (OLT) 用に導入したもので、出品車はその2号車、1号車はすでに今春から成田空港~羽田空港間のOLTで活躍中だ。

平野ロジスティクスでは、通常の航空貨物ウイング車に対し、LD3コンテナを7個も多く搭載可能なことから、このトレーラを「プラス7」と名付けている。

▼コンテナ搬送用に油圧コンベアを上段に、ローラーを下段とテールゲートリフトに積装。



▶荷主である日本航空の山村毅執行役員 (中央左) と筒井健祐マネージャー (中央右)、平野ロジスティクスの高瀬英二常務 (右端) と益子研一東日本担当営業部長 (左端)。IAA・Eck社ブースにて。



▼むろん日本の法規に適合しており、トレーラ全長14m×全幅2.5m、連結時全高3.8m未満に収まる。下段荷台は床面地上高350mmと極めて低いが、独立懸架式エアサス車軸により内法長10.4mに渡るフラット床を実現、LD3の長手面を進行方向と平行に4個積載する。上段荷台 (内法長

11.7m) は、LD3の長手面を進行方向と直角に8個積載、これで計12個となる。荷室内法高は上下段各1,690mm (LD3は高さ1,626mm)。外国人観光客の増加でOLT拡大が見込まれる中、日本航空の山村毅執行役員貨物郵便本部長は「今後の輸送効率アップが期待できる」と話していた。

Scania

P320DB Hybrid with Cooling case

スカニアの屋外出品車で、GVW26t大型配送車用6×2ハイブリッドシャシに、三菱重工製の電動冷凍ユニット・TEJ100AMを搭載した注目すべき1台である。

TEJ100AMは、日野プロフィアCHV用として開発されたもので、今IAAでも欧州販売代理店が出品していたが、純然たる大型HEVとの組み合わせは初。しかし現時点では、HEVシステムとTEJ100AMとの関係 (機構・制御) を全く明らかにしていない。

ただ、独自の温管車フリートの発注で製作、運行されるものであることは、スカニアから公式に発表され、IAA会期中に引渡式が行われている。なお、P320ハイブリッド自体は、320馬力9.2L直5ディーゼルエンジンと出力130kW・トルク1050Nm電気モーター、12段AMT、出力1.2kWh・電圧650Vリチウムイオン電池を搭載するパラレル式HEVで、モーターのみ走行も可能である。

